



2023年7月3日
株式会社 阿波銀行

有限会社長元商会の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 福永丈久、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、有限会社長元商会（代表取締役 長元 太、本社：徳島県吉野川市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	有限会社長元商会
所在地	徳島県吉野川市山川町津由谷 36 番地 1
代表者	長元 太
業種	廃タイヤリサイクル業
設立	2002 年 5 月 9 日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。



有限会社長元商会 代表取締役 長元 太

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・経済	環境配慮型サービス・製品の提供	持続可能な社会の実現のため、環境配慮型製品・サービスの提供を推進します。	① (1)サーキュラーエコノミーに資する取組みを強化するため、廃タイヤ回収・チップ加工 石炭代替エネルギーとして活用 (2)CO2削減量をステークホルダーへ開示		
			② (1)2030年までに年間7千CO2トン削減 (2)2025年度より開示		
社会	社会・地域活動の情報発信の推進	地域社会の一員として、地域・社会への貢献活動を積極的に行い、地域の魅力を広く社内外にPRいたします。	① (1)HPを作成し、社会・地域活動の情報発信を行う (2)SNSを利用し社会に対するPRを行う		
			② (1)2024年度までに作成 (2) 月2回発信		
社会・経済	社内の声の把握	一体感のある経営をめざして、社員の声を積極的に収集し、改善検討を通してスパイラルアップする組織を目指します。	① (1)社員との定期的な対話を行う (2)意見を言いやすい環境と風通しの良い職場を作り、課題の把握・改善に努める		
			② (1)毎週実施 (2)2024年までに就業規則を見直し、年10件以上改善		
社会・経済	地元での地域貢献	地元業者との接点拡大と雇用を通じた地域貢献のため地元人材の活用を推進します。	① (1)地元取引先の拡大を図る (2)地元企業への積極的な発注 (3)地元人材の活用		
			② (1)2030年までに販路の調査をし拡大する (2)車のメンテナンスを年6台発注 (3)2030年までに1名採用		



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。